

令和6年度第3回養老町地域公共交通会議 議事概要

●日時 令和7年2月26日(水) 9:50~10:36

●場所 養老町中央公民館 中ホール

●出席者 [委員:敬称略]

中部運輸局岐阜運輸支局	下平 真一郎
岐阜協立大学教授	竹内 治彦
岐阜県都市建築部都市公園・交通局公共交通課	野田 なつみ
大垣土木事務所施設管理課	林 徹
養老警察署交通課	佐藤 方紀
海津警察署交通課	高橋 誠
名阪近鉄バス(株)	山田 規光久
スイトトラベル(株)	西川 勝則
岐阜近鉄タクシー(株)	高橋 政信
(一社)養老線管理機構	伊藤 要一
養老鉄道(株)	中村 晃士
(公社)岐阜県バス協会	木村 治史
名阪近鉄バス労働組合	加藤 浩司
養老町区長連絡協議会	安田 澄雄
養老町老人クラブ連合会	澁谷 八代子
養老町老人クラブ連合会	近藤 とし江
大垣市都市計画部交通政策課	高橋 祥紀
大垣市上石津地域事務所地域政策課	馬淵 義昭
海津市市民環境部市民活動推進課	杉野 雄一
輪之内町住民課	松本 香代
養老町副町長	田中 一也
養老町産業建設部長	竹中 修

[事務局] 養老町総務部企画財政課
養老町産業建設部産業観光課
養老町産業建設部建設課
養老町総務部企画財政課
養老町産業建設部産業観光課

中島 和哉
佐竹 達也
吉村 和人
伊藤 良彦
渡邊 智行

養老町産業建設部産業観光課
養老町産業建設部建設課
養老町産業建設部建設課

久保山 正也
小島 利彦
村田 杏奈

- 欠席者 岐阜国道事務所大垣維持出張所 太田 宗徳
大垣警察署交通第一課 吉田 浩司

- 議題 協議事項1 養老町地域公共交通計画（案）について
報告事項1 養老町オンデマンドバスバス停の新設及び移設について

●議事

協議事項1 養老町地域公共交通計画（案）について

- 事務局から説明
（議第1号 養老町地域公共交通計画（案）について）

○委員からの質問・回答、意見・提案等

- ・33 ページ、確認指標ということでお金の記載があるが、国交省としても、今後の公共交通計画をアップデートするために、どのぐらい予算を使っているか、見える化するのを推奨しているため、このページを付け加えていただくこと自体はありがたい。ただ、養老町の事情として、安いのは定時、定路線のバスで、デマンドに力を入れていくと経費がかかってくるので、経費が上がったからやめてしまおうではなく、あくまでも指標として、町内でまばらに住んでいるとか、500メートルも歩けない高齢者が多いとか、いろんな条件があると思うので、その町にあった交通形態を選んで、それが効率よく運営されているかを見るための参考程度にとどめとして、お金がかかっているからダメだよってということではないので、きちぎちした承認にしないように。
- 確認指標につきましては、見える化という形は当然必要だという認識でいる。ただ、空白地域をなくしていくために、今オンデマンドバスというものを実施しているという認識も当然で、何のために置かれているか注釈などを入れることや追記するなど検討する。
- 1行目のところに適切な時期に確認・検証することとなっている。このパブリックコメントで、費用対効果と出てくるが、多分、費用対効果を考えたら養老町の場合、公共交通やめてしまえばいいということになりかねない。だから、費用

対効果ってということが、いつでもそのことだけで成立するわけじゃなく、この金額が上がったらやめますか、でもやめられない。ただ、あんまり極端に上がっていったら、今のやり方を考えないといけないかもしれないという話になると思うので、これを見ていきますと宣言するという意味合いがこの1行目の適切な時期に確認・検討することにしますという文章だと理解していただければよい。

→先ほど追記するなど申しましたが、この適切な時期で確認・検証するというところで、目安という部分で進めていきたい。適切に見直さなければいけない時期については、また今後も検討していきたい。

→これだけの金額がかかっているということを町民の皆さんにご理解いただくということでここに上がっていて、この値があまり動くようであれば検討していかなくちゃいけないということを踏まえて、ここに上がっていると理解していただきたい。大事なところで、これで無しとすると、どんどん細かな要求となる。極端なこと言うと、1番いいのは公共交通と称して、自分の家の前までバスというかバンみたいな車が来てくれて、目的地まで行ってくれれば1番いいっていう風になってしまうので、それはできないからっていうところなので、やっぱり全体がどれぐらいの金額でコントロールされているのかということが見える化されるということになる。この計画は町民の皆さんにどういう風にお伝えしていくのか。

→こちらの計画につきましては、ホームページでお知らせをしていく。

・多分、これすごく綺麗に作っていただいている見やすいですけども、ホームページに上がっていても、印刷物がどこかに置かれていても、多分どなたもご覧にならないだろうと思う。これは養老町だけではない。コメントでは様々なご意見が出てくるが、公共交通って行政がただ作っているだけじゃなくて、利用者の皆さんも一緒に作っていかないとダメだと思う。特に人口が少ないところです。人の動きがどうなっていて、どれぐらいの間でどういう風なこと実現していくのだったということについて、利用者にも状態を理解いただいて、できれば一緒に作っていくような、そんな形が望ましくなってくのだろう。多分、岐阜市なんかでも、走らせてほしかったら広告取ってらっしゃいみたいな、そんな感じで地域の交通を維持したようなところもあり、本当に維持しようと思うと、利用者の皆さんも一緒になってどう維持していけるかっていうことを考えて、いろんな努力をしていただかないといけないと思う。そういう点では、ホームページにあげただけじゃなくて、自治会等のところで、何かこういう計画でこうやるといったようなことをお知らせいただけたらと思う。

→公共交通に、乗っていただけるような利用機会の創出など、オンデマンドバスの出前講座みたいなものをやらせていただく機会もあるかと思うので、そういった機会にこういった計画についてもご説明をさせていただきたいと思う。

→そんなすごく手間のかかる話をお願いしたいのではなくて、そういう機会を捉え

て、なるべくご理解いただけるように努めていただければと思う。

○「養老町地域公共交通計画（案）について」承認

報告事項1 養老町オンデマンドバスバス停の新設及び移設について

○事務局から説明

（報第1号 養老町オンデマンドバスバス停の新設及び移設について）

○委員からの質問・回答、意見・提案等

・移設①は、バスがどちらから来て、どちらに向かって行くのか。

→現状は北からのみですが、こちらに移設することによって、北からでも南からでもどちらからでも入っていけるようになる。